

臨床発達心理士会北海道支部ニューズレター 2015年度 No.1 (2016年10月5日)

発行：広報担当 林祐輔 服部菜摘

◇◇◇◇◇2016年度 北海道支部 第1回研修会報告◇◇◇◇◇

日 時：5月14日（日）14:30～17:30

会 場：ちえりあ【札幌市生涯学習センター】2階 大研修室
(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10)

テーマ：これからの臨床発達心理士が目指す役割 ～臨床発達心理士会北海道支部のこれまでとこれから～

発表者：堀内ゆかり（北海道医療大学）

司 会：橋本竜作（北海道医療大学）

概 要：

新しく国家資格化される「公認心理師」の想定される職能との比較を通して、臨床発達心理士の職能と求められる能力を確認しました。そのなかで臨床発達心理士は乳幼児期だけでなく、学童期、青年期、そして老年期へと「発達」という視点をもって取り組むことの重要性が強調されました。そして北海道支部の現状に関しては、広大な地域性から、地域に添い、家族に添い、人に添うことを課題として、地区ごとの話し合いの場を設け、支部の現状と課題を整理し、臨床発達心理士としての役割を見つめなおす機会が持てました。

(文責 橋本竜作)

◇◇◇◇◇2016年度 北海道支部 第2回研修会報告◇◇◇◇◇

日 時：5月15日（日）09:30～12:30

会 場：ちえりあ【札幌市生涯学習センター】2階 大研修室（札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10）

テーマ：語用と会話のアセスメントと支援

発表者：藤野 博（東京学芸大学）

司 会：滝澤真毅（帯広大谷短期大学）

概 要：

語用に関して学び、会話の中で語用がどのように機能しているのかを、会場の支部会員とのやり取りをもとに例示をさせていただきました。そして、会話の分析を行う視点を学び、実際に会話場面の映像を見たのち、その会話を分析した結果を見ることで、アセスメントについて理解を深めました。実践の場で出会う自閉スペクトラム症（ASD）の事例と、新し

く DSM-5 で定義された社会的（語用論的）コミュニケーション症についても学び、さらに新しく日本語化される評価法（Children's Communication Checklist：CCC）に関して、ご紹介いただきました。最後は ASD のお子さんへの会話に焦点をあてたコミュニケーション支援について具体例を通して、訓練セッションなどをご紹介いただきました。

（文責 橋本竜作）

◇◇◇2016年度 北海道支部第3回研修会のご案内◇◇◇

※ 臨床発達心理士有資格者のみの参加となります（資格をお持ちでない方は参加できません）。

日時：2016年12月11日（日曜日）12：30～15：30（受付12:15～）

会場：北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス（アスティ45 12階 講義室A）

URL：<http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~satellit/contents/access.html>

テーマ：自閉スペクトラム症の支援をめぐるこれからの方向性

講師：萩原拓先生（北海道教育大学）

資料代：500円（資料代）

司会：橋本竜作（北海道医療大学）

概要：

昨今、DSM-5 では自閉スペクトラム症（ASD）の診断基準が改正され、さらに日本においては障害者差別解消法施行による合理的配慮の推進、また発達障害者支援法も改正されて、ASDを含めた発達障害のとらえ方や支援について再考する必要があると思われる。ASDに関しては、ようやく診断および支援に関わるアセスメント・ツールが国際的水準に達しつつある。本研修会では、Vineland-II 適応行動尺度および感覚プロファイル・シリーズの紹介を中心に、包括的アセスメントの可能性を模索していく。また ASD 支援は当事者のライフステージを通して、将来自分なりに自立していくことに焦点を定めていく動きが活発化している。その基盤となるのは、生活環境への適応であり、またその支援は発達障害関連の支援対象者の増加に伴い、より高い効率性が求められている。本研修会では、このような現状の課題と支援に携わる我々の方向性について考えていきたい。

資格更新研修会参加記録ノート（A欄）の記載事項：

（研修会名）自閉スペクトラム症の支援をめぐるこれからの方向性

（年月日）2016年12月11日（日曜日）

（ポイント数）1ポイント

研修会参加に関する注意事項

1) 士会会費未納者の参加は認められません。

- 2) バーコード付きIDカードと参加記録ノートの両方を持参してください。
- 3) バーコード付きIDカードで本人確認をしますので忘れずにご持参下さい。
- 4) 参加記録ノートを忘れた場合はポイントを発行できません。
- 5) 参加記録ノートを提出する際には、事前に研修会名、年月日、ポイント数などを記入しておいて下さい。
- 6) 参加記録ノートの記載不備（写真がない、登録番号がない等）がないようにして下さい。
- 7) SV（スーパーバイザー登録者）の参加記録ノートは、様式が異なるのでご注意下さい。
- 8) 研修会開始10分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。
- 9) 更新受付終了後の人（参加記録ノートを本部に提出し、研修会当日に参加記録ノートが手元にない方）にはポイントは発行できません。

◆◆◆台風に係るお見舞いとお伺い◆◆◆

今般、相次ぐ台風により罹災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

支部では、北海道の被災地域に居住または勤務されている支部会員の方の被災状況の個別確認とともに、全支部会員の被災状況確認を行っております。

以下のメールが配信されておりますので、返信くださいますようお願いいたします。なお、メールが届いていない方は事務局までお問い合わせください。

配信日：9月15日（木）午前11時半頃

件名：台風に係るお見舞いとお伺い

差出人：日本臨床発達心理士会北海道支部 <cdp.hokkaido@gmail.com>

◆◆◆事務局より◆◆◆

今年度のJDDネット北海道の担当理事につきましては、現支部役員の橋本竜作先生にお願いすることになりましたので、お知らせいたします。